

法人（事業所）理念		<p>「子どもたちの喜びが社会も喜びに導く」を基本理念とし、遊びの中から得られる新しい経験からよりたくさんの喜びを感じてもらうために、より多くの遊び(療育プログラム)の実施。ひとつの遊びよりも、たくさんの遊びからの方が、より多くの新しいことができるようになります、より多くの可能性の発見につながります。</p> <p>当たり前のことではありますが、これを保護者の方々だけで行うのは、・時間・コスト・精神力・体力的にも大変なことです。スタジオみらいは地域の方々を含めた、たくさんの人たちの協力のもと、これを実現していきます。</p> <p>まずは一人ひとりの興味を見極め、苦手なことは好きな遊びを通して伸ばし、好きなことは新たな遊びからさらに伸ばし、可能性の発見へとつなげていきます。</p> <p>子どもたちと一緒に見つけた可能性を、児童発達支援管理責任者を含む療育スタッフが、"才能"へと結びつけます。</p>			
支援方針		<p>◆スタジオみらいが大切にしていること</p> <p>①子どもたちの色々な可能性を発見する。</p> <p>②子どもたちの可能性を伸ばし選択肢の幅を広げていく。</p> <p>③どうしたらできる可能性があるのかを考えチャレンジする。</p> <p>④自立に繋げる。</p> <p>の 4つを大切に療育活動を行っています。</p>			
営業時間		平日 10 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり（片道30分以内を想定しています。）	
		学校休校日 9 時 0 分から 17 時 0 分まで			
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 身辺自立：身だしなみや食事マナー等、生活上のスキルを習慣化し、自立した生活が実現できるようサポートします。 健康管理：定期健康チェックや病気予防を徹底するとともに、活動の機会を捉えて、健康な体づくりの基礎を学びます。 安全教育：交通安全や防災訓練を通じて、日常の安全意識を高めるとともに、活動の機会を捉えて、ロールプレイと実践を行います。 生活リズムの確立：スケジュール管理や睡眠の重要性を学び、ご家族のご協力を得ながら、規則正しい生活を促します。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 身体機能向上プログラム：身体能力向上の為の運動や筋力トレーニングを活動に取り入れ、身体の使い方を知る活動を行います。 感覚統合：触覚を刺激する遊びやトランポリン等を使った運動で、バランス感覚と空間認識を養います。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知スキルの向上：記憶力ゲームや知育玩具等を通じて、記憶力や問題解決を育みます。 社会的スキルの育成：ソーシャルスキルトレーニングや役割遊びを通じて、友達とのコミュニケーションや協力の仕方を学びます。 自己調整スキル：感情の認識とコントロール、タイムマネジメントを伝え、自己調整能力を高めます。 問題の解決：問題解決のステップを伝え、グループディスカッションを通じて多角的な視点から解決方法を学びます。 モチベーションの向上：スマーリステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで自信をつけ自己肯定感を高めています。 			
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語能力の向上：ちくちく言葉、ふわふわ言葉など友達との日々の関わり合いの中での適切な言葉の使い方を学びます。 コミュニケーションスキルの向上：日々の活動の中での友達同士のやりとりにおいて、適宜必要な場合はスタッフが介入し適切な行動や伝え方を支援します。 支援技術の活用：イラストを用いたカードを使用し言葉でのコミュニケーションが難しい子どもたちを支援します。 グループ活動：グループワークや協力ゲームを通じて、他者との意見交換や協力の具体的方法を体験します。 			
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルスキルトレーニング：挨拶や自己紹介、感謝や謝罪などの表現を練習し、友達との関わり方を体験します。 役割遊びとロールプレイ：日常生活や社会的な場面を再現する役割遊びや特定のシチュエーションでのロールプレイを通じて、適切な行動や会話を体験します。 協力活動：制作活動やグループゲームを通じて、友達とのやり取りを楽しみながら、チームワークと協調性を育みます。 社会参加活動：地域イベントやボランティア活動に参加し、社会とのつながりと社会貢献の意識を育みます。 コミュニケーションの機会：日常生活以外にもグループワークでの話し合いの時間を設け、意見交換やコミュニケーションのスキルを養います。 自己肯定感の育成：成功体験の共有や日常的に他者を褒める習慣を通じて、自己肯定感を高め、互いの成長を喜び合う機会を提供します。 			
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 利用日毎の送迎時に当日の療育活動の様子の報告を行っています。 定期面談とカウンセリング：定期的な面談（6か月に1回以上）とカウンセリングで、お子さんの成長や課題について保護者と話し合い、心のケアをサポートします。 情報提供：研修会等を通じて、最新の情報や支援方法を共有し、家族の知識を深めます。 家庭での支援方法の提案：児童に合ったご家庭でできる支援方法があれば提案させていただき、家庭でも継続的に子どもを支援できるようサポートします。 相談窓口の設置：公式LINEや電話等についても相談できる環境を提供します。 			
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 就労移行に向けた支援：中高生を対象とした個別課題によるトレーニングを行い本人の自信に繋げていきます。 生活スキルの向上：金銭管理や家事スキルの活動機会を設定し、自立した生活を送るための基本的なスキルを育てます。 自己理解と自己決定：自分の強みや希望を理解し、自分で決める力を育てる支援を行います。 サポートネットワークの構築：支援機関との連携を通じて、継続的なサポートを受けられる環境を整えます。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域の施設利用：図書館や体育館など、地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。 地域連携の強化：地域の学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。 情報提供と啓発活動：SNSの積極的な活用により、地域に活動内容や障がいについての理解を広めます。 緊急時の地域連携：地域と連携した防災訓練や緊急支援ネットワークを構築し、災害時の対応力を高めます。 			
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修と教育：月に1回の全体ミーティングや個別支援計画の会議を通じて、児童情報の共有に努めています。 資格取得支援制度：資格取得のための費用補助や学習支援、資格講座を提供し、職員の専門性を高めます。 評価とフィードバック：定期的な評価とフィードバックを通じて、多角的な視点から職員の成長を支援しています。 療育プログラムの共有：月毎のレクリエーション活動の目的や取り組み方の共通認識を行うため、職員間で月毎の集まりミーティングを行う体制を整えています。 職場環境の改善：働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図っています。 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 社会体験活動：工場見学や地域の施設見学 園芸活動：季節の収穫体験（野菜の収穫体験） 季節行事：夏祭り、クリスマス会、運動会、音楽イベントの参加 			